

デジタル化の波に果敢に挑み、変化を先取りする

根来流 2030年の 事業リーダーたちへ

第1期



来たれ「探索」と「協創」の学び舎へ

デジタル化が産業界に恩恵をもたらす一方、市場から撤退を余儀なくされた企業もあります。急激に変化する環境下では、対応できる者だけが生き残ります。これから先を見た時、どうデジタル化に向き合い、チャンスを見つけ、事業を生み出していけばよいのでしょうか。

本講座は、デジタル戦略と事業創造の研究に 1990 年代から取り組んできた第一人者、根来龍之氏を講師に招聘。チャレンジ精神と意欲を持ち、デジタル化に自信を持って対応できる事業創造リーダーを育てることを目的にした 5 回シリーズ（対面受講）です。

第 1～4 回は「講義」「グループ討議」「発表」の 3 パートで進行。参加者同士で探索、協創しながら実践的に事業創造プロセスを習得します。最終回の第 5 回はゲスト起業家による実例解説でさらに学びを深めます。別途、特別に根来龍之氏と各参加者による対面での「1 on 1 (ワンオンワン)」面談の時間も設けます。

企業の未来を担う皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

主催

名商大ビジネススクール (NUCB Business School)
日経ビジネススクール

本講座の3つの特徴

- 1 参加者によるグループ討議に重点を置き、実践的な学びを通じて「事業創造のプロセス」を持ち帰っていただきます。
- 2 期間中に講師による対面での「1 on 1（ワンオンワン）」面談を実施。大きな気付きと自信を得るチャンスとなります。
- 3 事業創造を考える参加者同士の協創やアライアンスにつながる機会を提供します。

受講対象

今後の組織を担う「次世代リーダー」候補者で、「経営企画」「事業企画・事業開発」「製品企画・開発」や、「マーケティング」「サービス」などに携わり、意欲のある方の参加をお待ちしています。

※1社あたり3名までお申し込みいただけます。

※一業種1社とさせていただきます。同一業種からのご参加は先着順となります。

講師メッセージ

企業顧問、企業研修、ビジネススクールでのゼミなど、いままでの経験を実業界に還元したいという気持ちで、今回の「学び舎」の企画を引き受けることにしました。

私自身が、大企業で新規事業プロジェクトの事務局長を務めた経験があります。また、私の研究室からは、15社のベンチャー企業創業者、東証上場企業10社以上の新規事業マネージャーが生まれています。そのため、事業創造のための理論と実践について、理論的かつ実践的指導を自信をもって行えると思っています。

事業創造のためには、何よりも実践が重要ですが、同時に、創造プロセスの成功確率を高めるためには理論の学習が欠かせません。また、議論の相手が必要です。そのため、今回の企画では、参加者同士の討議や、講師（根来）との「1 on 1（ワンオンワン）」面談を重視します。

この「学び舎」から、ともに多くの事業を創造していきましょう！



名古屋商科大学ビジネススクール（東京校）教授 根来 龍之

参考図書

※講座の教科書とはしませんが、是非学びを深めるご参考にしてください。

- ・根来龍之『事業創造のロジック』日経BP
- ・マイケル・ウェイド他『対デジタル・ディスラプター戦略』日経新聞出版
- ・根来龍之『プラットフォームの教科書』日経BP
- ・アッシュ・マウリヤ『実践リーンスタートアップ』オライリージャパン
- ・根来龍之・富樫香織・足代訓史『この一冊で全部わかるビジネスモデル』SBクリエイティブ
- ・スチュアート・リード他『エフェクチュアル・アントレプレナーシップ』ナカニシヤ出版
- ・根来龍之（監修・解説）中垣徹二郎、加藤雅則 著『企業進化を加速する「ポリネーター」の行動原則』日経BP
- ・ピンズ、オライリー他『コーポレート・エクスプローラ：「両利きの経営」を実現する4つの原則』英治出版



プログラム

第1～4回は「講義」「グループ討議」「発表」の3つのパートで進行、参加者同士で探索、協創しながら実践的に事業創造プロセスを習得します。第5回はゲストによる実例解説でさらに学びを深めます。

回	テーマ	内容
第1回 9/6(水)	既存企業の新事業探索	「深化」と「探索」の企業活動を同時に行う「両利きの経営」において、探索とは「新規事業を創発する活動」を指します。長期的成果につながる探索のプロセスとリソース配分について議論します。
第2回 9/13(水)	ビジネスモデルの探索	「大転換」の時こそ必要とされるビジネスの本質理解。ビジネスモデルに考えを巡らすことで、他の企業に勝ち続けるため強さの秘訣を理解し、収益の仕組みを見つけ出すことができます。
第3回 9/20(水)	デジタル化の二周目問題	デジタル化の変化は、一回だけではなくこれからも続きます。一周目に対応できたからといって二周目も勝てるとは限りません。二周目の変化は、事業創造のチャンスであり、また既存企業に再変革を迫ります。
第4回 9/27(水)	組織慣性の打破	組織改革を進めるためには、そのままの状態では「慣性」を弱める必要があります。この「慣性」を打破するためにどのような手立てを講じるべきか考えます。
第5回 10/11(水)	ピボットの実例 (ゲスト予定) 株式会社Spectee 代表 村上建治郎氏	「手探り」状態で新市場に参入した時、当初計画からのピボット（ビジネスモデルの修正）を迫られる場合があります。ゲストによる新市場参入とピボットの実例から考え、実践的学びを深めます。

*プログラム内容は都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

特別企画

講座期間中に「1 on 1 (ワンオンワン)」面談を実施します

期間中に、NUCB東京キャンパスにて、講師と受講者による対面での「1 on 1 (ワンオンワン)」面談を実施します（お一人30分）。自分ごとに落とし込み、大きな気づきを得る機会を提供します。

※実施にあたり守秘義務を遵守します。

※面談設定など詳細は改めてご案内します。



講師紹介

根来 龍之氏 (ねごろ たつゆき)

名古屋商科大学ビジネススクール(東京校) 教授、大学院大学 至善館 特命教授、
早稲田大学 名誉教授(元 同大学ビジネススクール 教授)、デジタル経営研究センター 所長

京都大学文学部哲学科卒業。慶應ビジネススクール修了 (MBA)。10年の鉄鋼メーカー (経営企画等) 勤務、早稲田大学教授などを経て現職。経営情報学会会長、ビジネスモデル学会理事、California大学 Berkeley校客員研究員、CRM協議会顧問、経済産業省IT経営協議会委員、IT Japan Award審査員、(自動車工業会) JNX運営委員などを歴任。経営情報学会論文賞を3回受賞。企業顧問やセミナー講師など実業界との多様な接点を持つ。根来研究室からSpectee社など15のベンチャー企業創業者、東証上場企業10社以上の新規事業マネージャーが生まれている。デジタル戦略、プラットフォーム戦略、新事業探索、ビジネスモデル策定などを専門領域としている。

開催概要

日程	9月6日 (水) ~10月11日 (水) 各回18:00~21:00 (3時間講義。最終回は20:30まで) ※最終回終了後は近隣レストランで懇親会を実施予定です。
会場	東京キャンパス (東京駅前 丸ビル<オフィス棟>9階) 915教室 (予定) ※ライブ配信は行いませんが、各講義翌日から1週間の録画配信をZoomで行います。
主催	名商大ビジネススクール (NUCB Business School)、日経ビジネススクール
受講料	375,000円 (税込み412,500円)
定員	40名 (予定)
申込方法	下記サイトから必要事項を入力の上お申し込みください。 その際、この講座に期待することを400字以内でご記入ください。 https://s.nikkei.com/pnucbpm
申込締切	2023年8月23日 (水) ※定員に達した場合は、申込期間中でも締め切ることがあります。
備考	<ul style="list-style-type: none">・特に予習は必要ありません。・講義資料は各講義当日PDFにて配布いたしますのでPCをご持参の上ダウンロードをお願いします。会場にWi-Fi設備がございます。・原則として毎回、グループ討議と発表があります。是非積極的にご発言ください。・4回以上出席された方には、NUCBビジネススクールから修了証が発行されます。

お問い合わせ

NUCB 共同講座事務局 株式会社日経イベント・プロ内
TEL 03-6812-8652 FAX 03-6812-8755 Eメール: nucb_nbs@nex.nikkei.co.jp
受付時間: 営業日の9:30 ~ 17:30 <営業日> 土日祝、国民の休日、年末年始を除く日
根来流 2030年の事業リーダーたちへ
Webサイト <https://s.nikkei.com/pnucbpm>

